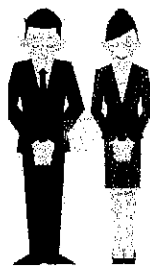


こ  
だ  
ま

第44号 (2021年7月)  
発行 九鬼コミュニティ  
センター  
電話 0597-29-2164

日頃は、コミュニティ活  
動に、多大なご協力・参加を  
賜り厚く御礼申し上げます。



〈お願い〉

引き続き、コロナ  
ウイルス感染予防の  
ため、3密(密閉・  
密集・密接)を避け  
手洗いと手指消毒  
マスクを着用し換気  
に注意してご利用し  
ていただきますよう  
お願い致します。

九鬼文化展について



11月に予定していました「九鬼文化展」は、新型コロナウイルス  
感染予防の為、今年度も中止とさせて頂きます。  
皆様、ご理解いただきますよう宜しくお願い致します。  
来年度の開催は、5月を予定しています。  
終息を願って…

九鬼の  
おもしろ  
歴史

九鬼における「疱瘡  
(天然痘)」の流行

昨年春からの新型コ  
ロナウイルスによる感  
染症は、やつとワクチ  
ンの注射を打つところ  
まできた。

発症の原因がわから  
なかった江戸時代の  
「疱瘡(ほうそう)」に  
ついて「紀州九木浦庄  
屋記録」、「尾鷲市史・  
年表」などから調べて  
みることにした。

「元禄三年(169  
0年)九月疱瘡時行(は  
やり)」その後「同十四  
年疱瘡時行」とあり、疱  
瘡は初めて文中に出て  
いる。発症原因は穢  
(けが)れにふれて生じ  
るとか胎毒説、また民  
間では「ほうそう神」  
でお祈りしていたとい  
う。

時代は下って「宝永  
七年(1710年)当浦  
甚兵衛子ヲト疱瘡煩イ

出ス」、「悪瘡ニテ諸国  
小兒死不知数(数しれ  
ず)：当浦小兒死人三十  
人余」とあり、その後疱  
瘡病人共に御救米を地  
下(ぢげ)から配給され  
ていたり、紀州藩から  
施し米がくばられてい  
たりしている。

元文二年(1735  
年)藩から、「奥熊野に  
おいては疱瘡病人を山  
小屋へ隔離することを  
禁ず」とのお達しがあ  
り、以後自宅で養生す  
るようになった。

時代が下っても変わ  
らないので、明和三年  
(1765年)藩から  
「病人改役(あらため  
やく)河野文平尾わし  
へ来て、個別改め」をす  
る。

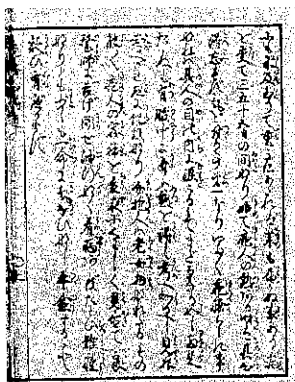
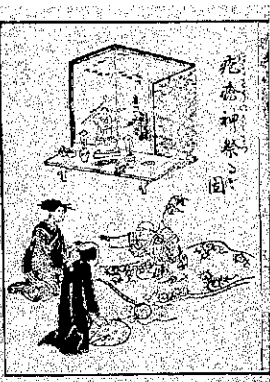
その時、尾鷲組の病  
人は1134人で自力  
養生322人、死人2  
56人、その内の九木  
浦は病人129人、自  
力養生45人、死者2  
9人だった。

江戸時代が終わるま  
で、尾鷲組400人と  
か大流行とか、各浦に  
記されていてずっと

流行していた。

弘化元年(1844  
年)種痘を、長崎出島で  
医学を学んでいたのか  
仁井田源一郎(木本代  
官)が大庄屋に進言して  
いる。

明治になってから、イ  
ギリス人ジェンナの種  
痘による予防接種が中  
国を経由して伝わって  
落ちついたのでしょう。



1798年(寛政10年)に  
刊行された『疱瘡心得草』